

意見交換 第1ターン

関係人口の機会創出と 活性化をもたらす地域資源

東海大学 教養学部

人間環境学科 自然環境課程 岩本研究室

築俊輔

序論① 松田町の概要（近年の統計データから）

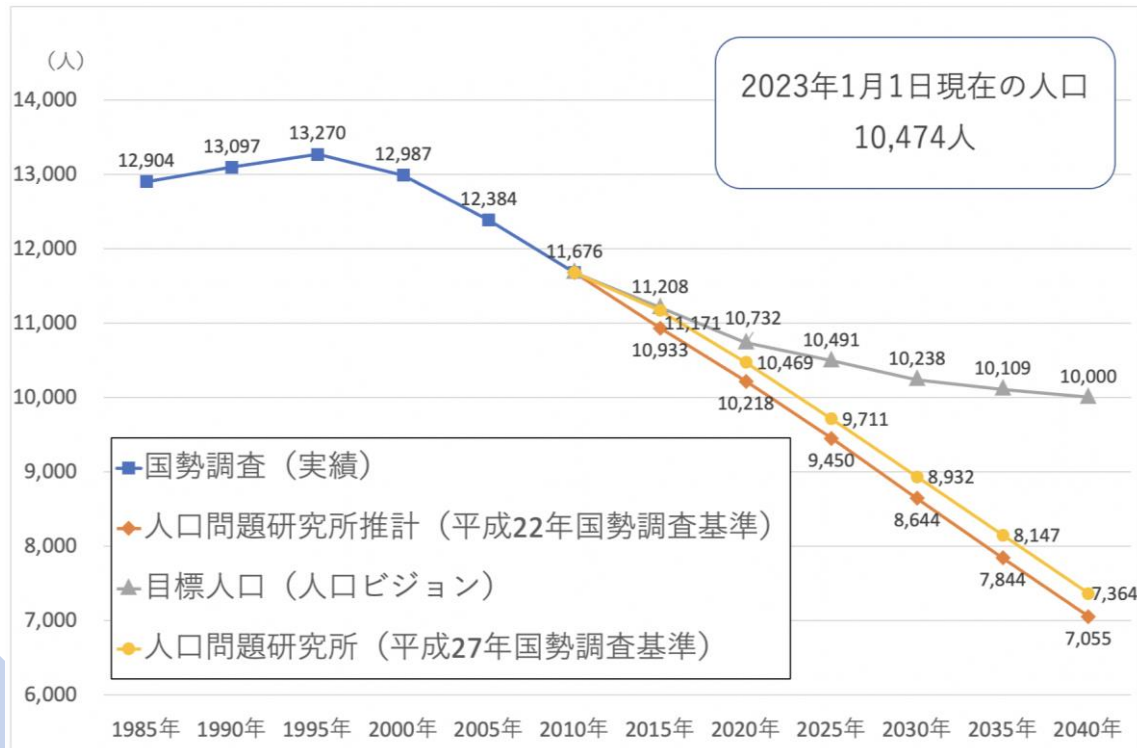


松田町

名称	内容
総面積	37.75km ²
総人口	10,474人（2023年1月現在）
世帯数	4,547世帯（2023年1月現在）
年間入込観光客数	373,774人（2022年現在）
年間観光客消費額	1,873,782,000円（2022年現在）
交通	東名高速道路 / 新東名高速道路 JR御殿場線 / 小田急小田原線
地域特性	豊富な自然（町の7割を占める山林） SDGs未来都市（2021/5/21認定） 首都圏のアクセスに優れたベッドタウン
名産品	みかん、お茶、桜鱒(養殖)、日本酒等

序論② 「増田レポート」 から考える松田町の現状と課題

人口問題研究所が発表した松田町の将来人口予想



消滅可能性都市

**2040年には人口が全盛期の
約半数近く減ってしまう**

年少人口1,028人,生産人口6,170人,老年人口3,733人
(令和3年1月1日現在、総務省調べ)



- ① 労働力の減少や供給力の低下
- ② 消費者の減少や市場の縮小
- ③ 若者1人が支える高齢者数が大幅に増加
- ④ 地域経済の減速や地域の行事やイベントの消滅

持続可能な地域づくり(移住・定住人口)が求められる

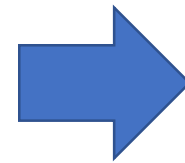
地域活性化の為に魅力創造サイクル①

シティプロモーションとは

「地域の魅力を創出し、資源を地域内部で活用可能としていくこと」

地域魅力創造サイクル

- ① 地域の魅力を**発散**
- ② 発散された魅力を**共有**
- ③ 共有された魅力をブランドへ**編集**
- ④ 編集されたブランド（魅力）を**研磨**

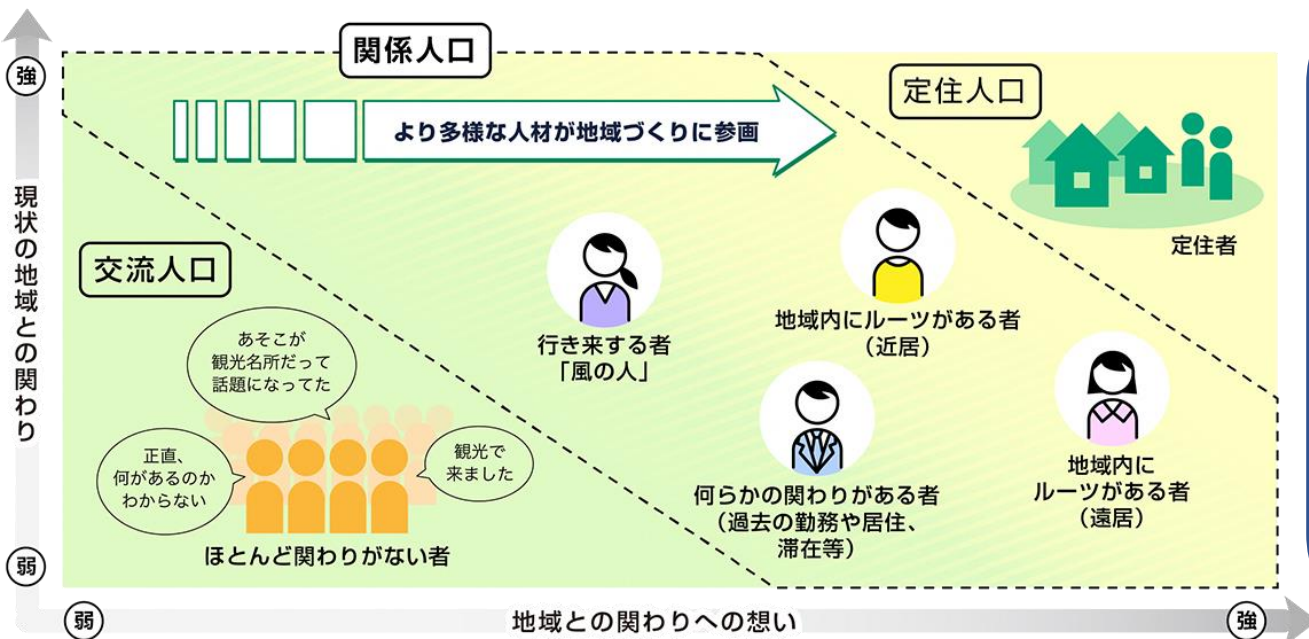


魅力創造サイクルによる
持続可能な地域づくり



多発的・持続的に繰り返す

地域活性化の為の魅力創造サイクル②



松田町は知名度が低く、
関係人口どころか交流人口も僅か
＋
自身がゼミにて活動できる期間も僅か
＝
まずは**認知度向上を目的**として
段階的に定住人口創出を目指す

多方面からの地域活性化

認知度向上

関係人口創出

地域ブランド
向上

繰り返し
施策検討

最終目的

持続可能な地域づくり
(移住・定住人口)達成を目指す

調査期間：2022/03～2022/07

フィールド調査結果

主要道路と主な観光資源



走行面

道 神奈川県道710号、東名新東名ic、林道土佐三廻部線
山林地域の峠道や中津川沿いの直線道、林道など
交通量も少なく楽しめるツーリングに適した道

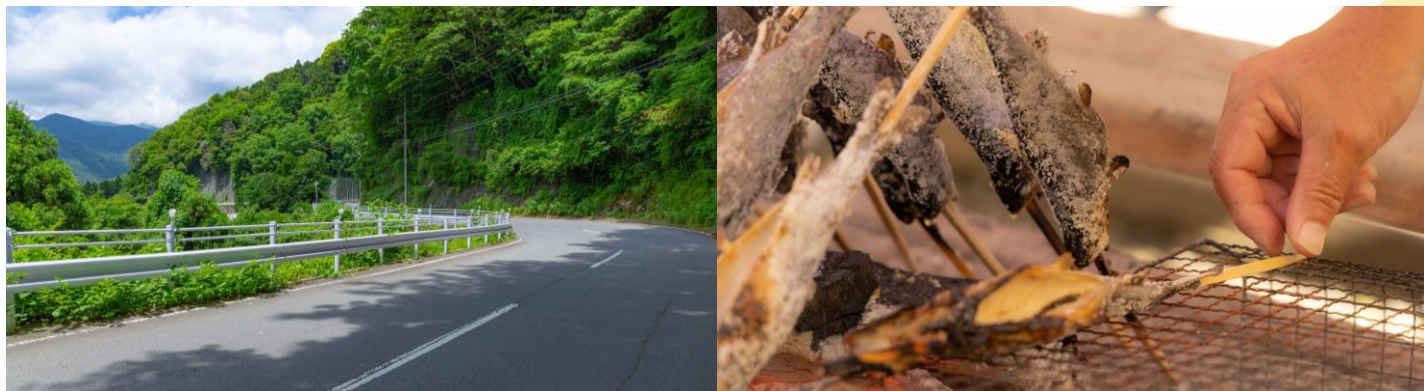
景 西平畑公園、チェックメイトCC、やどりき橋 等
自然の景色良し、バイク専用駐輪場有り

食 寄清流マス釣り場、みかん狩り、寄七つ星カフェ 等
串焼きサクラマス、松田ブランドのおひるねみかんジュース

宿 蜂花苑やどろぎ荘、ミロクキャンプ場 等
中津川沿いのキャンプ場、BBQができる

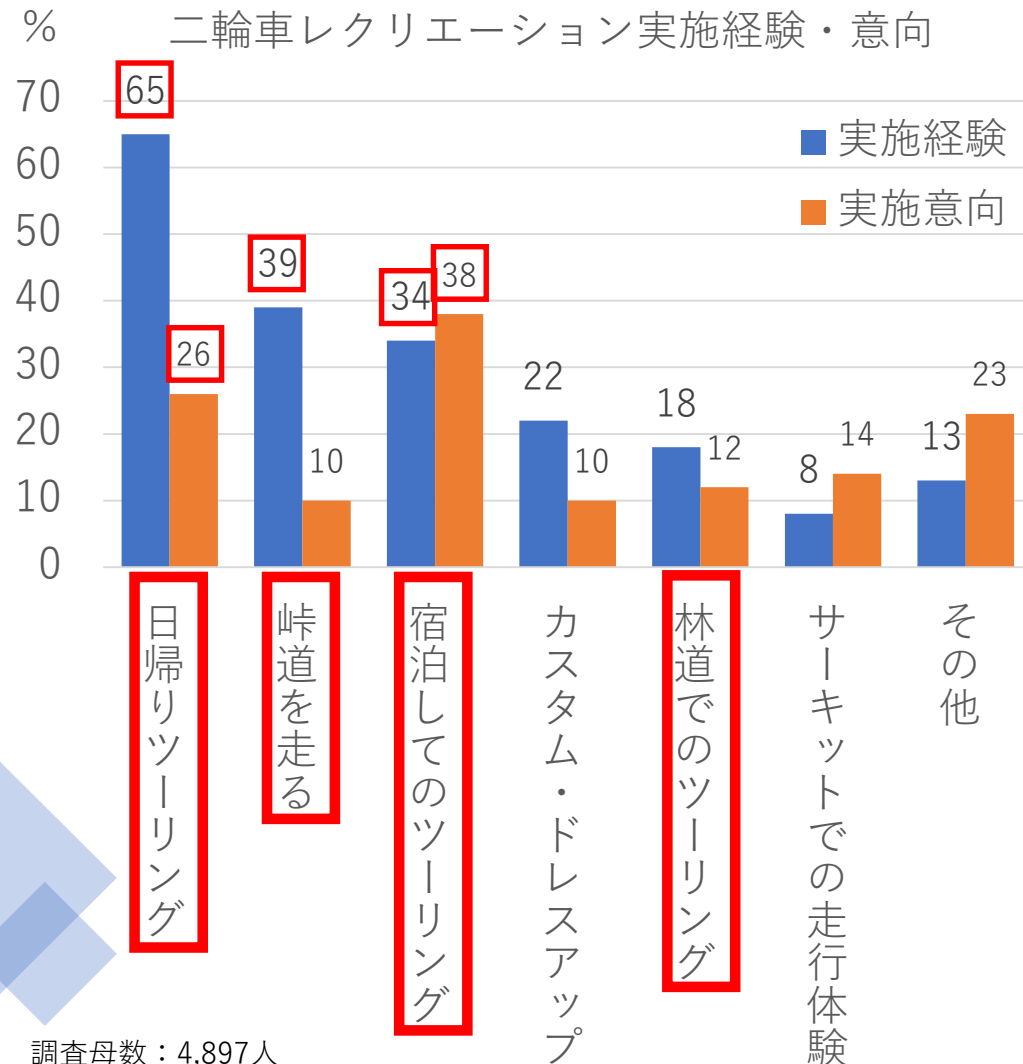
松田町は公共交通が不便+駐車場極僅か

→☒移動面で縛られないライダー効果大



資料分析に基づく考察

(バイカーが地域に求める要素から)



二輪車で経験したレクリエーション

1 位「日帰りツーリング」

→ ☒ 西平畑公園・寄清流マス釣り場 etc.

2 位「峠道を走る」

→ ☒ 神奈川県道 710 号

3 位「宿泊してのツーリング」

→ ☒ 蜂花苑やどろぎ荘・ミロクキャンプ etc.

5 位「林道でのツーリング」

→ ☒ 林道土佐原線・林道三廻部線

**松田町はバイカーが主として
好む要素に富んだ地域**

シティープロモーションにおける
重要なアピールポイントになる

松田町におけるアプローチの提案 自動二輪車の利点

対象：ライダー（年齢問わず）



- ① 関係人口を生みやすい
- ② 町内の公共交通が不便でも問題ない
- ③ ツーリングに適している土地
- ④ ライダーの中でも民度の高い客層
- ⑤ 商業施設や店舗にて継続的に放送される



地域×バイク旅をコンセプトとした動画
「日本再発見の旅」

持続可能な地域づくりに大きく貢献